

# 楽ラップ定期運用報告会 ～楽ラップ（ロボアド）とは？～

2024年9月26日収録

- 1 楽ラップの主な特徴
- 2 今四半期の運用状況
- 3 サービス開始来の運用実績
- 4 今後の投資方針

- 1 楽ラップの主な特徴
- 2 今四半期の運用状況
- 3 サービス開始来の運用実績
- 4 今後の投資方針

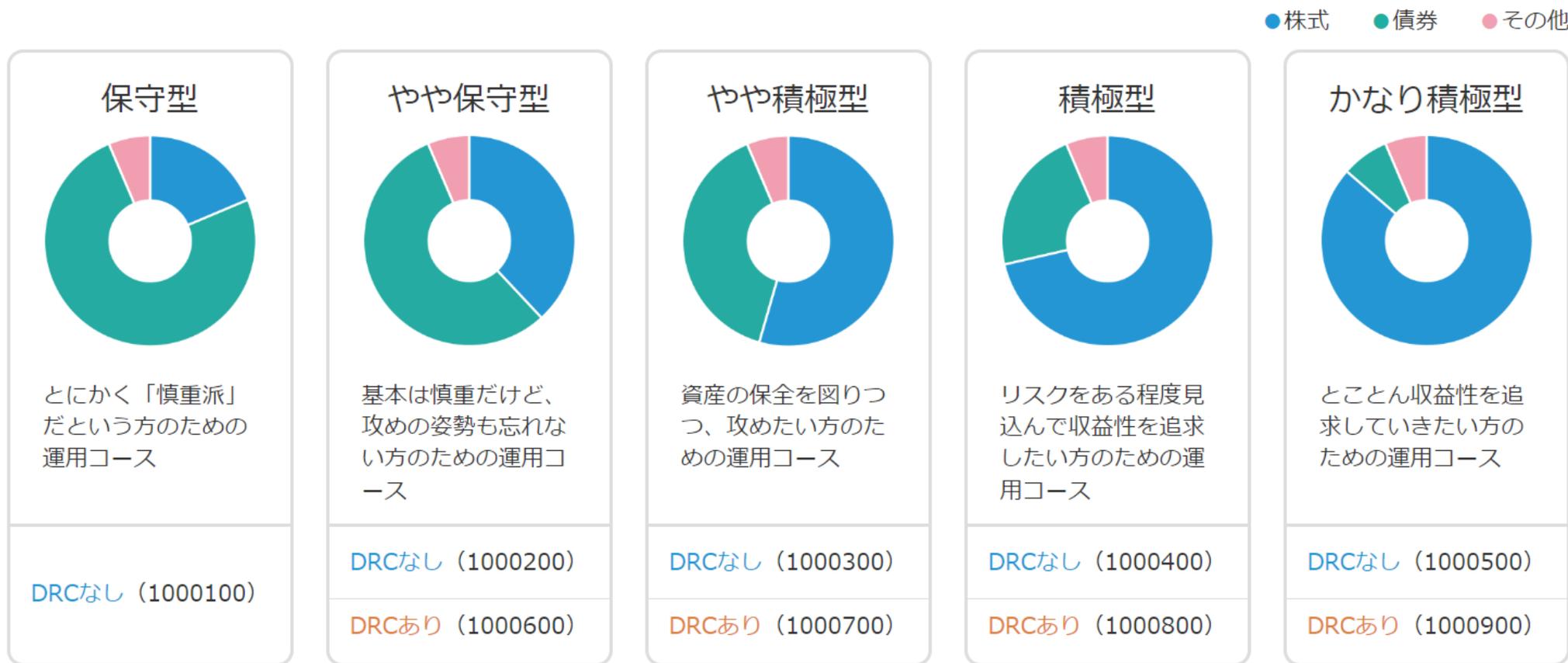
# 楽ラップの5つの魅力

✓ 楽ラップは「楽天証券がお客様の代わりに資産の配分や管理などを行う資産運用サービス」

- ① 自分にあった投資を2分でかんたん診断！ 選べる9つの運用コース
- ② 楽ラップの運用パートナー「マーサー」
- ③ 自動配分調整（リバランス）でリスクを管理
- ④ 下落ショック軽減機能（DRC機能）
- ⑤ 積立機能で資産運用をサポート

# 魅力① 自分にあった投資を2分でかんたん診断！9つの運用コースをご用意

- ✓ いくつかの質問に答えるだけで、お客様にあった運用コースを提案するロボアドバイザーを活用
- ✓ 楽天証券がお客様の代わりに運用・管理するので、「何に」「どのくらい」「どのタイミングで」と悩むことなく、ご自身の考え方や目的にあわせた資産運用が可能に



# 魅力② 年金型国際分散投資を実現！楽ラップの運用パートナー「マーサー」

## ▼委託運用サービスにおけるマーサーの受託実績

### 資産運用コンサルティング 助言残高（10億米ドル、グローバル）<sup>1</sup>

1	<b>Mercer</b>	<b>\$16,229</b>
2	Callan LLC	\$4,713
3	Willis Towers Watson	\$4,594
4	Aon	\$4,359
5	RVK, Inc.	\$3,396
6	Bank of America	\$3,123
7	Meketa Investment Group Inc.	\$2,813
8	NEPC LLC	\$1,529
9	Wilshire Advisors LLC	\$1,319
10	Russell Investments	\$1,015

出所：Pension and Investments

<sup>1</sup> Pensions and Investments誌の「Global AUA Rankings Survey」から引用したデータです。助言資産残高は計61社が「Pension and Investments」誌に報告した2023年6月末時点の全世界の助言対象資産額でランキングされています。

### OCIO 投資アウトソーシング残高（10億米ドル、グローバル）<sup>2</sup>

1	<b>Mercer</b>	<b>\$419.6</b>
2	BlackRock Inc.	\$216.5
3	SEI Investments	\$193.5
4	Willis Towers Watson	\$162.9
5	State Street Global Advisors	\$157.6
6	Russell Investments	\$155.7
7	Alan Biller and Associates	\$84.6
8	Northern Trust Asset Management	\$78.9
9	J.P. Morgan Asset & Wealth Management	\$63.0
10	Vanguard Group, Inc.	\$54.7

出所：Pension and Investments

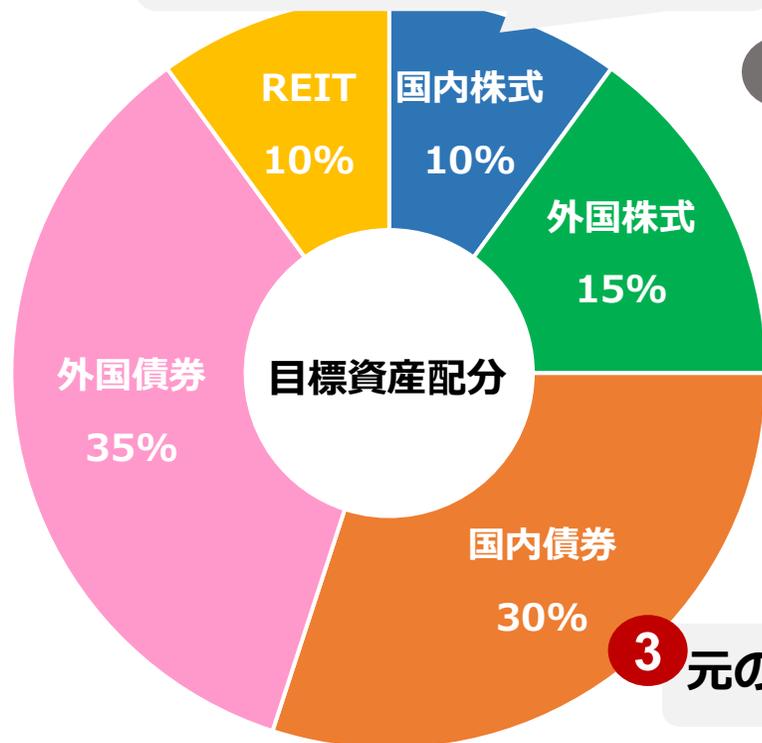
<sup>2</sup> Pension & Investment誌の「2024 Money Managers Survey」から引用したデータです。投資アウトソーシング残高はGSAMを除く計52社がP&Iに報告した2023年12月末時点の数値をもとに作成されています。

# 魅力③ 自動配分調整（リバランス）でリスクを管理

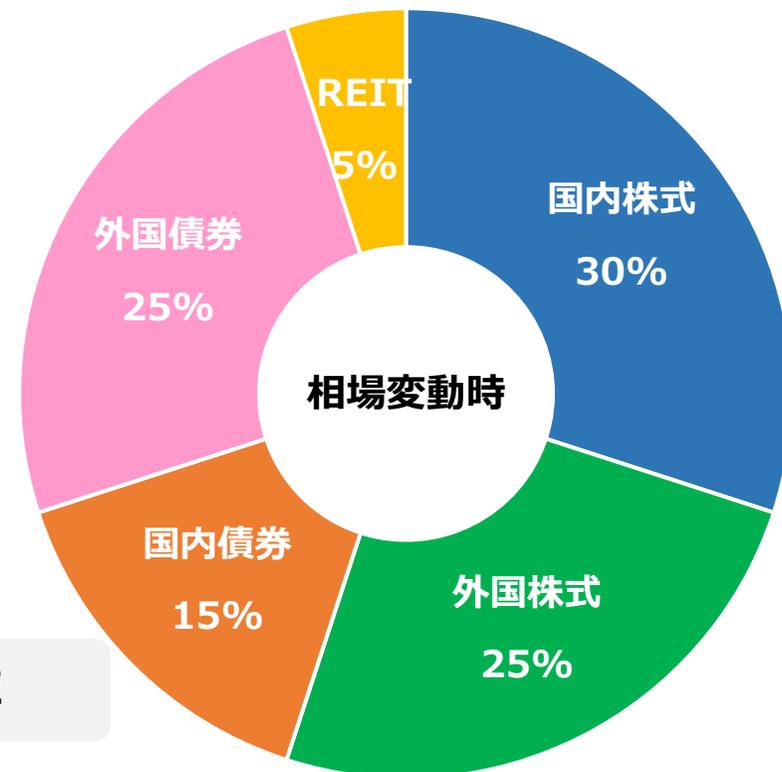
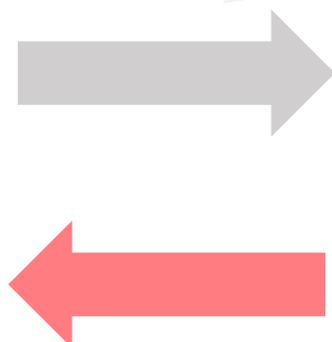
適切なポートフォリオとなるように、日々資産クラスやファンドの配分をお客様ごとに調整・管理  
→資産配分の偏りを自動調整し、リスク量の過不足を防止

## リバランスのイメージ

1 マーサーの助言をもとに  
目標ポートフォリオ決定



2 株式市場が高騰したと仮定  
→株式の組入れ割合が増加



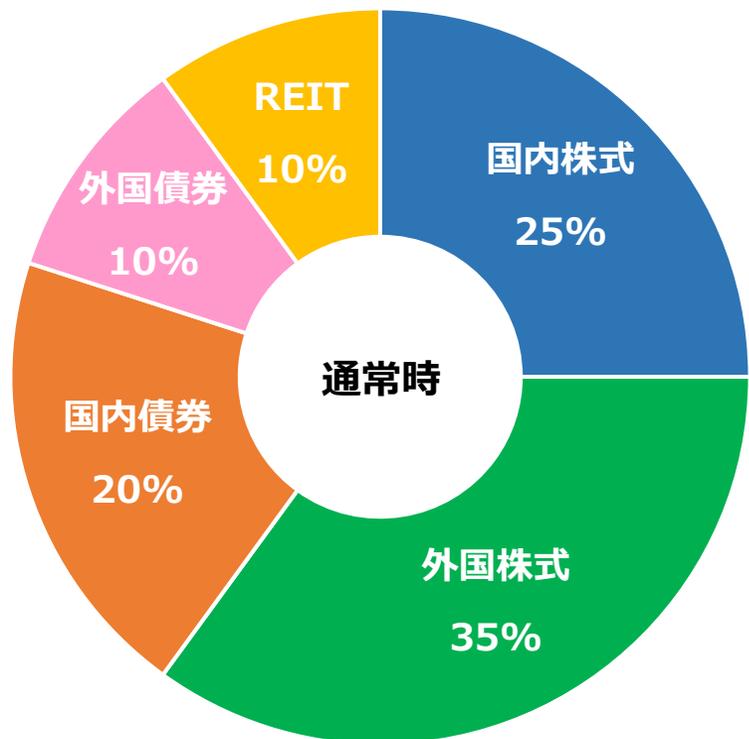
3 元の資産配分となるように売買発注

## 魅力④ 下落ショック軽減機能（DRC機能）

- ✓ DRC機能は資産全体の値動きのブレを軽減するための機能
- ✓ 発動時には市場の下落ショックによるポートフォリオへの影響緩和を図り、株式市場の値動きが落ち着いてくる過程において、徐々にもとの資産配分へ

※DRC：Downside Risk Control

### DRC機能のイメージ



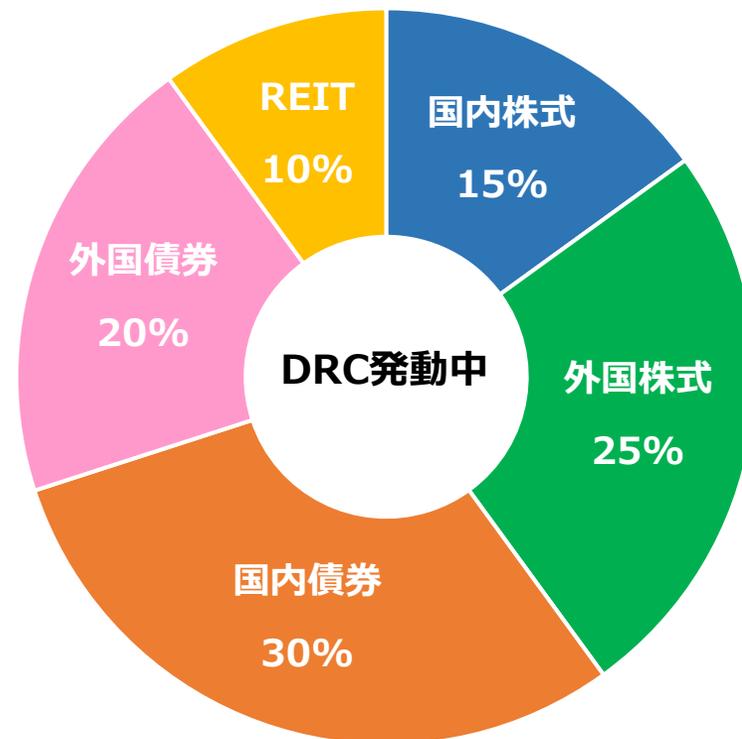
株式の値動きが  
激しくなった場合



株式の配分を減らし、  
債券の配分を増やす



相場が落ち着き次第  
通常時の配分へ戻す



## 魅力⑤ 積立機能で資産運用をサポート

- ✓ 積立機能の活用により、毎月自動で楽ラップに追加投資（増額）が可能に
- ✓ 「時間分散」をより手軽に
- ✓ 上下する市場の動きを利用して「安いときにもしっかり買う」



はじめに、ある程度まとまった資金にて楽ラップをお申込みいただき、その後積立機能を利用して、月々継続して一定金額を増額していくことも可能です。

# 投資信託と何が違うの？

	楽ラップ	従来の投資信託
運用方針	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 長期投資を前提としたリスクコントロール型運用</li><li>✓ 現代ポートフォリオ理論を活用した国際分散投資</li></ul>	個別ファンドによって異なる
投資先選定	お客様のリスク許容度や運用に対する考え方をふまえ、最適な運用コースをご提案 ※提案されたコース以外の選択やコース変更も可能	ご自身で選択
運用管理	投資一任契約にもとづき、楽天証券がお客様に代わって、運用・管理	ご自身で運用・管理
コスト	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 固定報酬（投資顧問料、運用管理手数料を含む）</li><li>・ ファンドにかかる費用（信託報酬、信託財産留保額）</li><li>・ 成功報酬（※成功報酬併用型を選択した方のみ）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 購入時の手数料</li><li>・ 信託報酬</li><li>・ 信託財産留保額</li></ul>
メリット	投資にかかる手間が少ない（投資先の選定や管理等）	投資先選択の自由度が高い
デメリット	運用・管理に手数料がかかる	投資先の選定や管理に手間がかかる

# おまかせ運用「楽ラップ」の始め方

## お申込みまでのかんたん3ステップ

01

### 無料診断

ロボアドバイザーがあなたにあった運用コースを提案

02

### 運用コース決定

お好みにあわせて運用コースを選択

03

### お申込み

契約金額や積立設定等の必要事項を入力

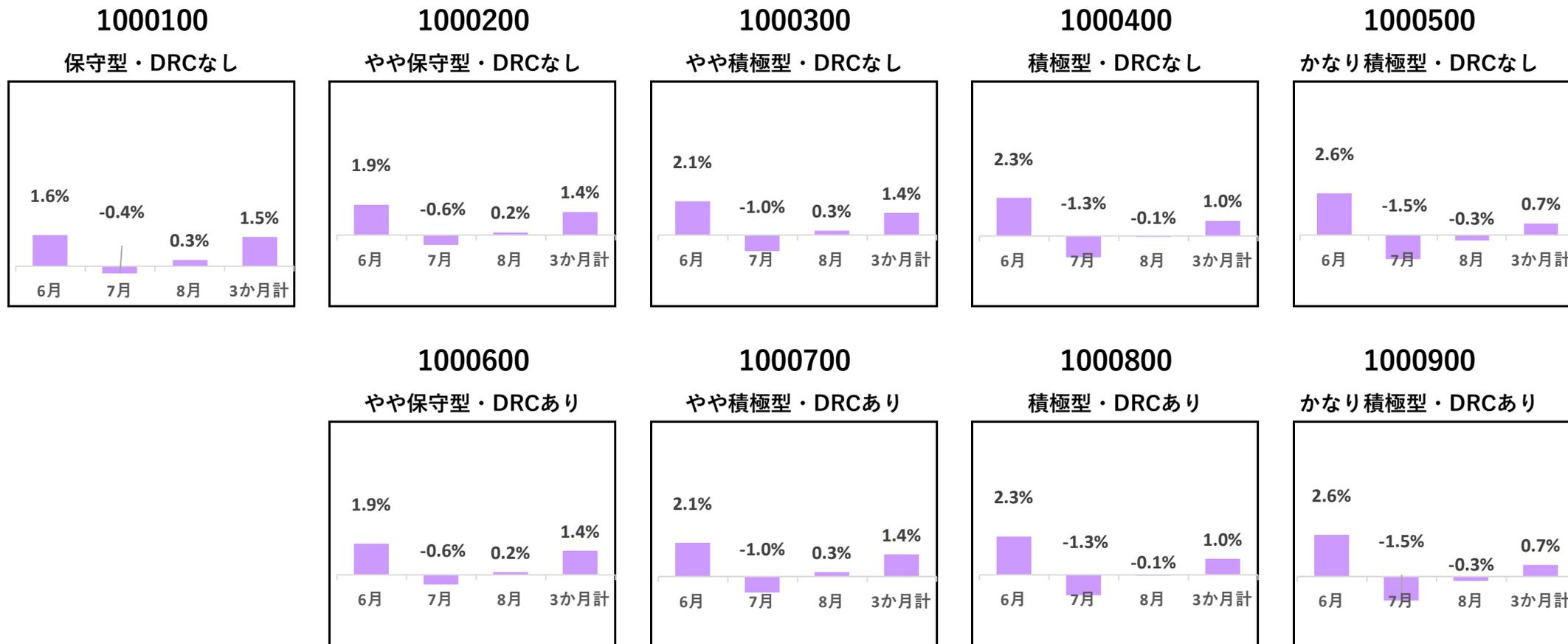


まずはQRコードから2分でかんたん無料診断！

- 1 楽ラップの主な特徴
- 2 **今四半期の運用状況**
- 3 サービス開始来の運用実績
- 4 今後の投資方針

# 運用コース別・四半期パフォーマンス（モデルポートフォリオ、2024/6～2024/8）

四半期ベースのパフォーマンスは、全コースがプラスで着地。6月～7月中旬にかけて安定的に推移していたものの、その後は米国経済の先行き懸念を示す指標の発表が相次いだことや円高が進行したことで低調に推移。



楽ラップに係る費用、及び楽ラップが投資するファンドに係る運用管理費用（信託報酬）は控除後。（ご参考）の各インデックスは運用管理費用（信託報酬）のみ控除後。

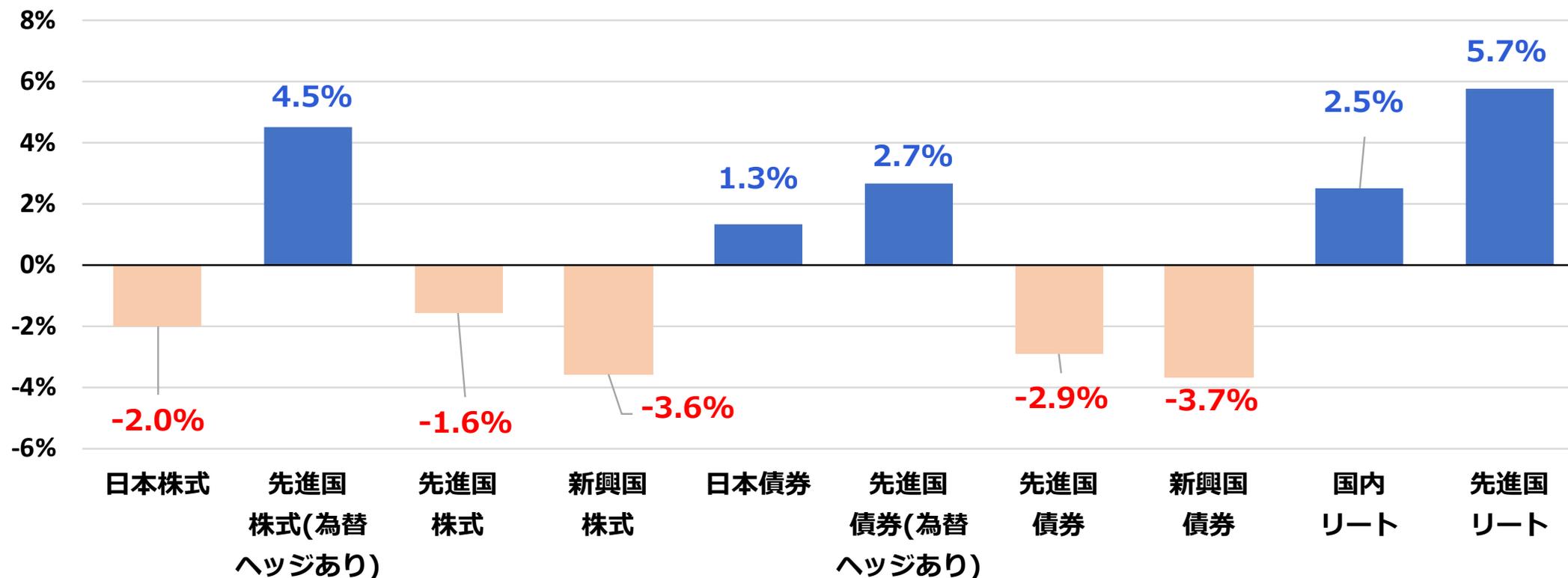
**R** DRCとは、市場急落時に株式比率の配分を下げ、債券比率を上げる、下落ショック緩和の機能。

パフォーマンスはお客様毎に投資時期、投資金額、手数料コース等により異なります。ご自身のパフォーマンスに関しては楽天証券のHP等でご確認ください。

# 各資産の動向（2024/5/31～2024/8/30）

金利低下が追い風となり、債券、リート市場が上昇。一方で、ドル/円が大幅に円高方向に進行したことを受けて、国内株式やその他海外資産が軟調に推移。

## 各資産のインデックスファンドの騰落率（2024/5/31～2024/8/30）



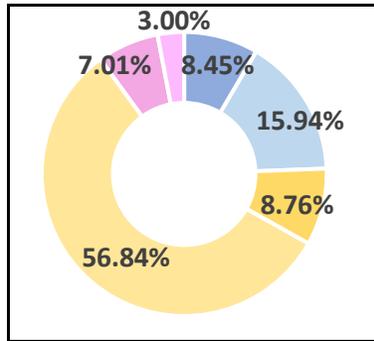
各資産インデックスファンドのリターンは、運用管理費用（信託報酬）のみ控除後。

# 運用コース別・資産配分の状況（2024年8月末現在）

定期リバランスを7月に実施し、国内株式、先進国株式（為替ヘッジあり）の比率を引き上げた一方、新興国株式、国内債券、先進国国債（為替ヘッジなし）の比率を縮小。

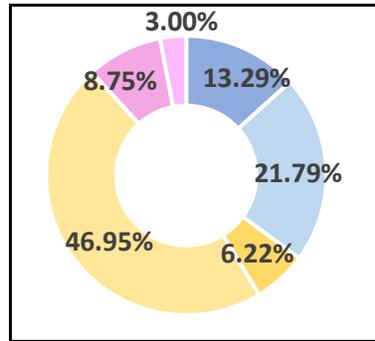
1000100

保守型・DRCなし



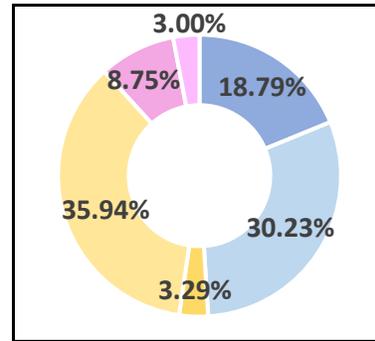
1000200

やや保守型・DRCなし



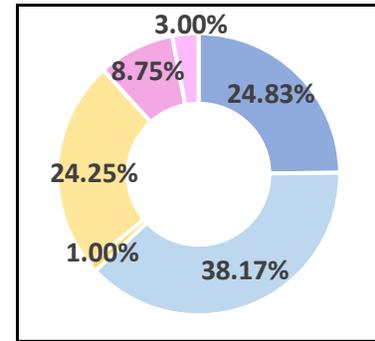
1000300

やや積極型・DRCなし



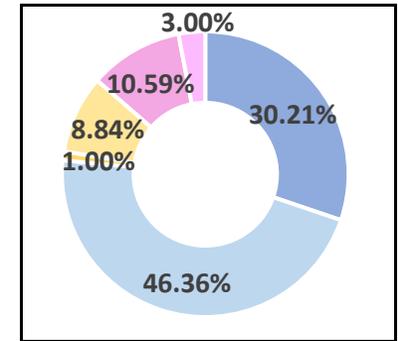
1000400

積極型・DRCなし



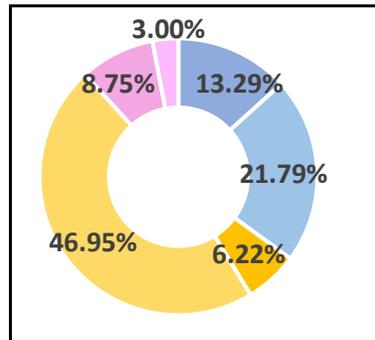
1000500

かなり積極型・DRCなし



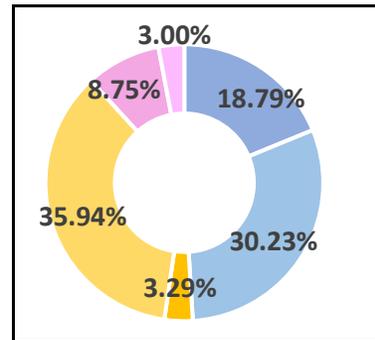
1000600

やや保守型・DRCあり



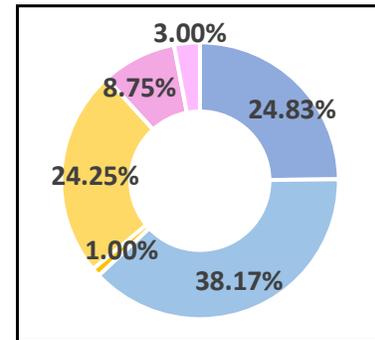
1000700

やや積極型・DRCあり



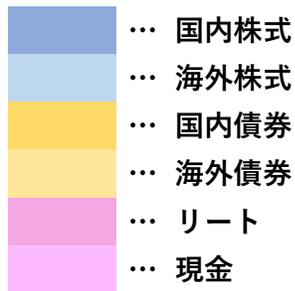
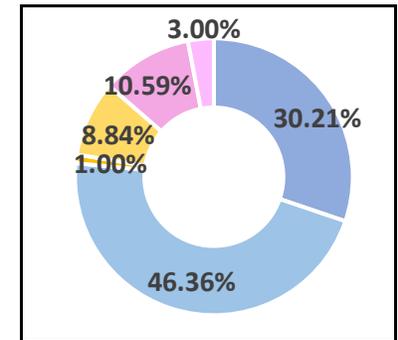
1000800

積極型・DRCあり



1000900

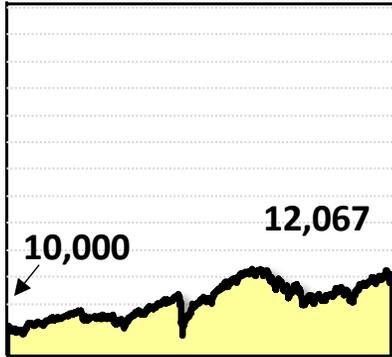
かなり積極型・DRCあり



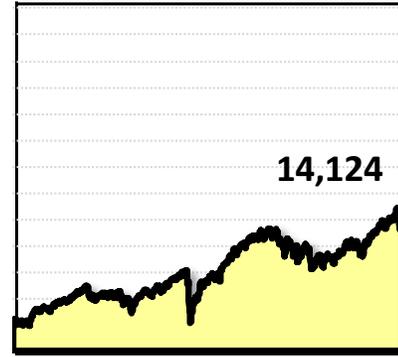
- 1 楽ラップの主な特徴
- 2 今四半期の運用状況
- 3 サービス開始来の運用実績**
- 4 今後の投資方針

# 運用コース別・設定来のパフォーマンス（当初設定日：2016/7/4～2024/8/30）

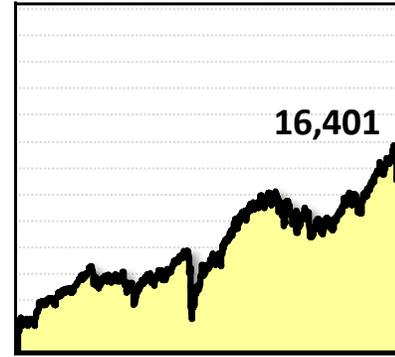
1000100



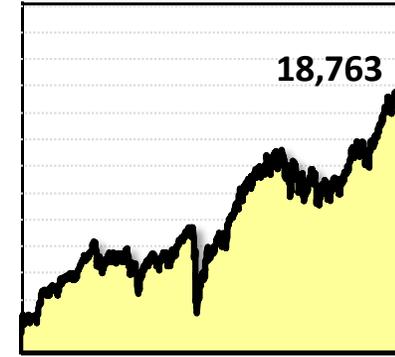
1000200



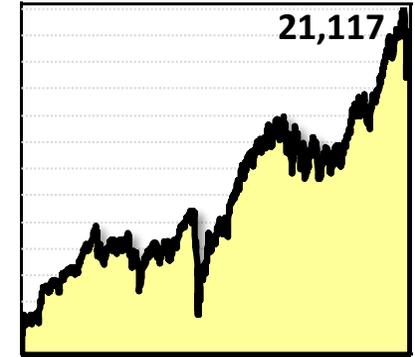
1000300



1000400



1000500



表の見方

横軸：時間

→左端：2016/7/4

→右端：2024/8/30

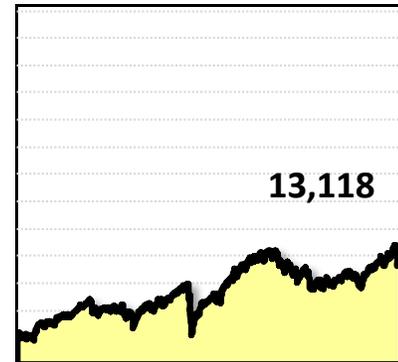
縦軸：価格

→下端：9,000

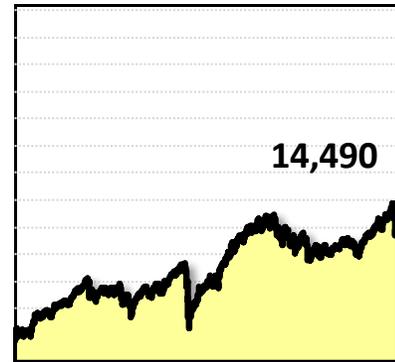
→上端：22,000

→設定時価格：10,000

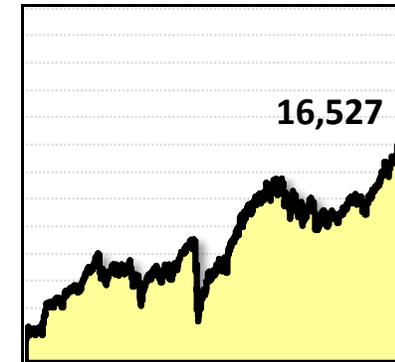
1000600



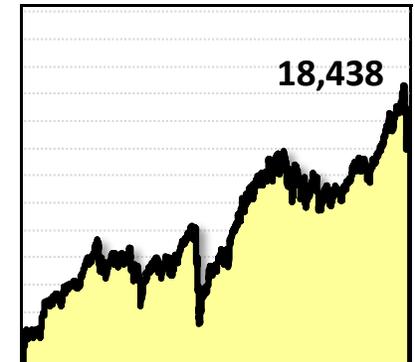
1000700



1000800



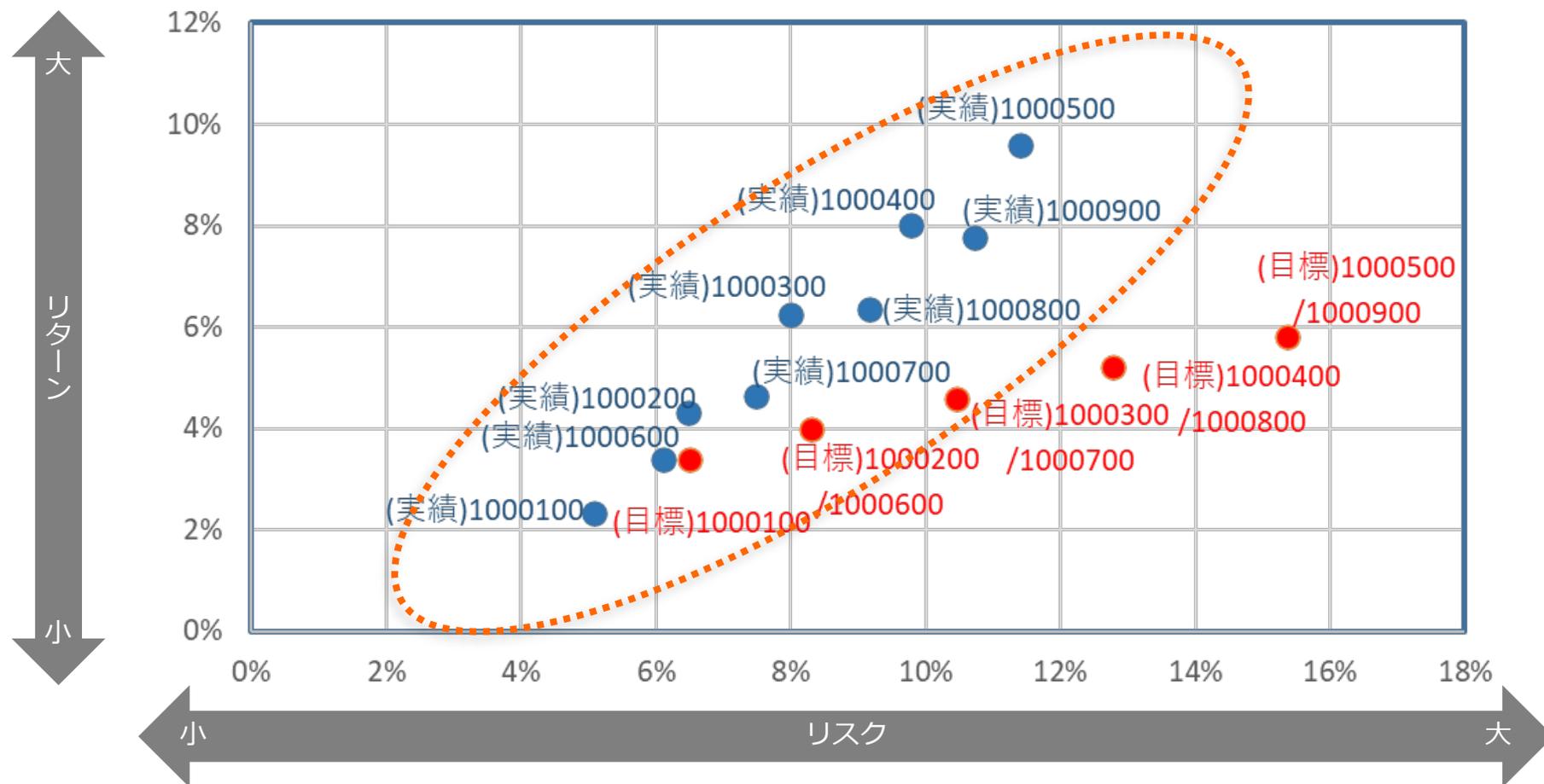
1000900



楽ラップのサービス開始時を10,000として指数化。楽ラップに係る費用、及び楽ラップが投資するファンドに係る運用管理費用（信託報酬）は控除後。なお、当初運用開始日から当運用コースの運用方針に則り運用を行った場合に想定されるパフォーマンスを示したものであり、実際に運用を行った結果ではありません。また、想定されるパフォーマンスは過去のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

# 各運用コースのリスク・リターン（年率）の目標と実績の比較 （2016年7月4日～2024年8月30日）

低リスクコースの100番・600番以外のコースで、目標より低リスクで、高リターンを確保



楽ラップに係る費用、及び楽ラップが投資するファンドに係る運用管理費用（信託報酬）は控除後。実績リスク・リターンは、月次リターンを使用して計算し、年率換算ベースで表記。目標リスク・リターンは、2022年7月に見直しを実施。

- 1 楽ラップの主な特徴
- 2 今四半期の運用状況
- 3 サービス開始来の運用実績
- 4 今後の投資方針

## 運用の基本方針

## 長期分散投資の運用方針は変更なし

- 各運用コースの想定リスクに基づき、各資産を最適な比率で組み合わせ、長期投資を行います。
- 原則、投資タイミングを図った投資は行いません。
- 長期的な金融市場の拡大をじっくり捉えながら、資産の成長を目指します。  
※短期的なトレーディングは行いません。



短期的な市場の動きに対しては、上昇しても下落しても、一喜一憂しません。楽ラップは、世界有数の投資助言会社であるマーサー社グループの助言を受けて、「年金型・国際分散投資型で、長期投資や積立投資に適するよう」に運用を行っている商品です。

## ご注意事項

本資料は、勉強会の為に作成されたものであり、有価証券の取引、その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありません。

本資料で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なる場合がございます。また、本資料は将来の結果をお約束するものではなく、お取引をなさる際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいませようようお願いいたします。

商号等：楽天証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

# 投資にかかる手数料等およびリスク

## 【楽ラップにかかるリスクと費用】

楽天証券ラップサービスは、国内投資信託および外国投資信託等を主な投資対象として運用を行うため、投資元本は保証されるものではなく、これを割り込むことがあります。また、お客様には運用にかかる費用等をご負担いただきます。費用等には、直接ご負担いただく費用（投資顧問料及び管理手数料）と、間接的にご負担いただく費用（投資対象に係る費用）があります。

楽天証券ラップサービスの手数料体系には固定報酬型と成功報酬併用型があり、固定報酬型では投資顧問料と運用管理手数料の合計が最大で運用資産の0.715%※（税込・年率、税抜0.65%）、成功報酬併用型では投資顧問料と運用管理手数料の合計が最大で運用資産の0.605%※（税込・年率、税抜0.55%）+運用益の積み上げ額の5.50%※（税込、税抜き5.00%）となります。このほかに間接的にご負担いただく費用は、投資信託では運用管理費用として、信託報酬（最大で信託財産の0.33%※（概算、税込・年率、税抜0.30%））。但し、楽天証券ラップサービスで投資する投資信託が投資対象とする他の投資信託の信託報酬等を加えた実質的な運用管理費用は最大で信託財産の0.6820%※（概算、税込・年率、税抜0.67%）です。）、信託財産留保額（最大で信託財産の0.15%（概算））、その他費用をご負担いただきます。これらの費用の合計額および上限額については、資産配分比率、運用状況、運用実績等に応じて異なるため、具体的な金額・計算方法を記載することができません。詳しくは、契約締結前交付書面および目論見書等でご確認ください。

なお、楽天証券ラップサービスにはクーリング・オフ制度は適用されません。金融商品仲介業者を通じてお申込みいただいたお客様は、ご担当者までお問合せください。